

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『 当院における肺結核の診断遅延因子の同定』

研究機関名 東邦大学医療センター 大森 病院
研究責任者 呼吸器内 科 職位・氏名 助教 卜部 尚久

【研究の背景および目的】

肺結核は治療の進歩と共に先進国では克服された疾患とされていますが、日本では未だに1年間に一万人以上が診断される一般的な疾患です。肺結核は年齢や持病の肺疾患によっては、様々な病態をとり、最初に別の病気と診断されていることも珍しくありません。肺結核は非常に感染力が強く、感染防御が必要ですが、肺結核を疑えずに、他の患者様や病院職員が結核菌に曝露されてしまう事例も毎年発生しており、重要な問題となっています。

そこで、東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科では、当院で入院加療を行った肺結核の患者様の臨床経過を解析し、感染対策ができなかった原因や診断の遅れに繋がる原因を統計学的に解析することを目的として本研究を計画しました。

【研究対象および方法】

この研究は、(医学部/東邦大学医療センター大森 病院) 倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象：2008年1月から2021年4月に東邦大学医療センター大森病院で診断を受けた肺結核の患者様を対象と致します。

方法：診療録(カルテ)から抽出した患者様の情報や臨床像、検査データ、画像所見を調査します。患者様の情報は、新たな識別番号を割り当てて匿名化を行います。匿名化された情報は研究責任者がインターネットに接続できないパソコン上に保存し、パソコンは鍵をかけ保管します。今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人情報は一切含まれません。個人を特定できるような情報が外部に漏れることはありません。本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院
呼吸器センター(内科)
職位・氏名 助教 卜部 尚久
電話 03-3762-4151 内線 6555